

カーボン・ニュートラルへの取組概要

当社の事業活動全般において排出される温室効果ガス排出量を算定し、その全量を温室効果ガス削減クレジットで相殺することで、カーボン・ニュートラルを目指します。

〔算定対象範囲〕

区分	カテゴリ	主な算定対象
自組織 (スコープ1)	直接排出	都市ガス、LPG、灯油、重油
自組織 (スコープ2)	エネルギー起源の間接排出	電気、熱(冷水・温水)
バリュー チェーン 上流	1. 購入した製品・サービス	OA用紙、印刷、サーバー、通信、保守・修繕、消耗品、上下水
	2. 資本財	資本財(有形、無形)
	3. 燃料・エネルギー関連活動(スコープ1、2以外)	電気・熱(冷水・温水)
	4. 上流の輸送・流通	購入製品の配送
	5. 事業活動で発生する廃棄物	産業廃棄物、一般廃棄物
	6. 出張	航空機・新幹線・特急、電車、バス、タクシー、船舶、レンタカー、宿泊
	7. 従業員の通勤	電車、バス
	8. 上流のリース資産	リース資産(エコドライブ診断バスの運行等)
バリュー チェーン 下流	9. 下流の輸送・流通	郵便・宅配等

〔当社で実施する温室効果ガス削減対策〕

- ・サーバーの仮想化
- ・照明の昼休み消灯
- ・早帰り運動の実施
- ・電力使用量の公表と削減に向けた啓発
- ・省エネ省資源の具体的な行動基準を設定

温室効果ガスの「見える化」を通して継続的な温室効果ガス削減を目指します。

